

平成17年12月16日

各 位

株式会社UFJ銀行

ウイルスが添付されたメールが配信された件について

昨日、弊行の「UFJ CHINA NEWS」にメールアドレスをご登録いただいているお客さまに対し、ウイルスが添付されたメールが、弊行メール配信サーバーより配信されていたことが判明いたしました（ウイルス名：Worm_Netsky.P）。お客さまをはじめ皆さま方には、大変ご心配、ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

既に、配信されたお客さまにつきましては、個別にご連絡を行っております。また、本件に伴うお客さまの個人情報の流出はございません。

なお、本件以外の電子メール配信や、その他のインターネットを利用したサービスにつきましては、今回の件とは関係ございませんので、通常どおりサービスを提供いたしております。

【今回の経緯】

外部から弊行のメール配信サーバーに対し、ウイルス感染ユーザーからと思われる不正なメール投稿が行われた結果、「UFJ CHINA NEWS」にご登録いただいているお客さまに対し、ウイルスが添付されたメールが配信されました。

配信されたお客さまの人数 約7,000名

【ウイルスに感染した場合の影響】

このウイルスに感染すると、そのPCにあるメールアドレスに対してウイルス感染メールを送信します。なお、ウイルス感染メール送信時には、送信者名の詐称が行われます。

【再発防止について】

再発防止に向け、メール配信実施時のチェック機能強化等による不正メール配信の防止を検討、実施してまいります。そのため、実施完了までの間「UFJ CHINA NEWS」メール配信サーバーの運用を停止いたします。

以 上